

平成28年9月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています

Yahoo! や Google などの検索画面から

「袋井市役所／市議会トップページ」



「本会議のインターネット中継」をクリック



(ライブ中継) または (録画放送) をクリック

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

一般質問通告議員

9月13日（火）午前

質問順序	質問形式					ページ
1番	一問一答	伊	藤	謙	一	議員 …… 1
2番	一括	沼	上	賢	次	議員 …… 3
3番	一問一答	高	橋	美	博	議員 …… 4

9月13日（火）午後

4番	一括	岡	本	幹	男	議員 …… 5
5番	一問一答	戸	塚	哲	夫	議員 …… 7
6番	一括	山	田	貴	子	議員 …… 8

9月14日（水）午前

7番	一問一答	大	庭	通	嘉	議員 …… 9
8番	一括	寺	田		守	議員 …… 10
9番	一括	兼	子	春	治	議員 …… 11

9月14日（水）午後

10番	一括	田	中	克	周	議員 …… 13
11番	一括	大	場	正	昭	議員 …… 14
12番	一括	鈴	木	弘	睦	議員 …… 16

9月15日（木）午前

13番	一括	廣	岡	英	一	議員 …… 17
14番	一括	寺	井	紗	知	子 議員 …… 19

質問順序	1	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>>					
1 選挙に関して	<p>現在、日本は議会制民主主義の下、地方自治体は二元代表制により首長と議会が相互に政策決定と監視と評価をしている。言うまでもなく、首長も議員も選挙により住民の同意を経てその職務に就く事ができるのだが、ここ近年選挙では投票率の下落が大きく取り上げられ、住民の総意を経ているとは考えにくい現状である。改めて本市における選挙に関する状況や課題を明らかにするため、以下を伺う。</p> <p>(1) 投票率、投票数ともに下落傾向にある近年の選挙に関してどう考えるか。また、どのような改善策が考えられるか。</p> <p>(2) 18歳からの選挙への投票が、本年7月から開始された。参議院選挙における、20歳未満の新たな有権者の投票数及び投票率は。また、今回の制度変更に伴い、市はどのような投票に関する啓発活動を行ったか。</p> <p>(3) 18歳からの選挙権が認められ、同時に18歳からの選挙運動も認められたが、学校内において同学年にあたる17歳には選挙権及び選挙運動に関して認められていない。本市の選挙管理委員会はどのように学校側に注意喚起をしたか。また、今後も当該課題に関してどのように考えるか伺う。</p> <p>(4) 2013年4月より、インターネットでの選挙運動が解禁され候補者の運動に役立っている。一方で、選挙を啓発するにあたり本市はインターネットを通じた周知はあまり積極的でないように個人的には感じるが、どのような取り組みが現状あるか。また今後、インターネットを活用した周知を考える必要があると感じるがいかがか。</p> <p>(5) 期日前投票は投票率の向上に大きく貢献している。しかし、本市での期日前投票所は袋井市役所本庁と浅羽支所と限られており、期日前投票所を増やす声が多く上がっている。また、市内の一部では投票所までの距離が遠く、より近い場所に投票所の開設を望む声がある。設置を提案し、費用対効果の研究を望むがいかがか。</p>				
2 オープンデータについて	<p>公的データの活用を促進することにより、市民生活の向上、企業活動の活性化等を図り、社会経済の発展に寄与するため、本市はインターネット上でオープンデータの推進を開始している。担当課が組織され運用が始まったばかりではあるが、将来、本市に必要な施策になると感じるため以下を伺う。</p> <p>(1) 袋井市オープンデータの推進に関する指針の中で、オープンデータは、袋井市ICT推進本部のもとに、全庁的な体制によって推進する。また、全庁的な普及及び理解を図るため、職員に対する研修等を実施するとの記述があるが、具体的な取り組みはどのように行うのか伺う。</p> <p>(2) 現在、176件の市の保有している情報ファイルや4つの便利なアプリが本市のホームページ上で公開されているが、今後の情報公開やアプリの追加に関して展開を伺う。</p> <p>(3) 「どまんなか袋井navi」に関して伺う。 ア 現状の利用数に関して把握しているか。</p>				

質問順序	1	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>>					
	<p>イ 今後利用者の増加を考える上で、アプリの操作に不便を感じるが改善は可能か。例えば、都市計画マップ、下水道マップは便利を感じるが、非常に見ために分かりにくい。</p> <p>ウ 地図上アプリという性質上、市内のイベント等も発信できると感じるがいかがか。</p>				

質問順序	2	議席番号	5	質問者	沼上 賢次
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	若者支援 少子化対策や若者の定住促進策の一環として、国や自治体が新婚世帯への経済的負担を軽くする支援に乗り出している。 (1) この制度をどう把握されているのか伺う。 (2) 「定住するなら袋井市」、婚姻数を増やすためにも本制度の導入ができないか伺う。				
2	高齢者防犯 不審電話で様々な犯罪に見舞われることが多い昨今。今一度、不審電話に対するしっかりした対応を決めておくべきである。 (1) 本市での「振り込め詐欺」の発生状況は。犯罪から守るという観点から取り組みについて伺う。 (2) 安心で安全なまちづくり対策として、「迷惑電話チェッカー」の導入ができないか伺う。				
3	洪水対策 近年多発するゲリラ豪雨などによる道路の冠水が問題となっている。特に、道路が立体交差となる箇所（アンダーパス）は、降雨時に冠水しやすい構造的な課題があり、事故を未然に防止する対策が必要である。 (1) 冠水による事故を未然に防止する「道路交通用エア―遮断機」を設置できないか伺う。				
4	図書館運営 利用者の多くは、本が衛生的で安心して、手にできることを求めている。 (1) 利用者から本への衛生面で苦情の報告があるか。本の衛生面にどのような対策を取られているのか伺う。 (2) 安心に本を借りられる「書籍消毒機」の設置ができないか伺う。				

質問順序	3	議席番号	12	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>>					
1	生活保護について 安倍政権は、2013年から3年間で平均6.5%、最大10%の生活扶助基準の引き下げを実施、さらに年末一時扶助、住宅扶助基準、冬季加算と相次ぐ引き下げを行った。こうした相次ぐ生活保護費の削減に対し、各地で撤回を求め裁判が行われ、市も提訴されている。市の生活保護についての考えを伺う。 (1) この訴訟についての市の認識はどうか。 (2) 生活扶助基準の引き下げの影響を把握しているか。 (3) 就学援助など他制度への影響はどうか。 (4) クーラーの購入設置費を扶助費の対象とできないか。 (5) 自動車の使用について条件の緩和はできないか。				
2	電力自由化への対応・再生可能エネルギーの拡大について 4月から実施となった電力小売全面自由化は、再生可能エネルギーの普及拡大への好機と考える。静岡県は全国トップの日照条件に恵まれた地域である。この条件を活かした本市の更なる太陽光発電の普及拡大のため取り組みについて伺う。 (1) 4月から電力小売全面自由化となった。これに対する市の認識と今後の対応はどうか。 (2) 環境基本計画で掲げた目標に対し、実績と目標達成の見通しはどうか。 (3) 10Kw以上の事業所の導入件数と発電容量はどうか。 (4) 全国各地で市民共同発電所が盛んに設置されている。袋井市でも設置に向け支援する考えはないか。 (5) 市内関係者を集めた協議会設置はどうか。 (6) 公共施設屋上の貸与、屋根貸しについての取り組みの総括と今後の対応はどうか。 (7) 次期環境基本計画では積極的な取り組みの下で高い目標を望むが、市の考えはどうか。				

質問順序	4	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	津波対策及び塩害対策について 防潮堤の工事は、豊沢工業団地造成と連携した盛土工の面では順調に進展している。しかし、塩害対策となる防災林植栽工は必ずしもそれに見合う進展とはなっていない。津波対策及び塩害対策に関連し、次の3点について伺う。 (1) 豊沢工業団地造成工事は順調に進展しているが、当初計画で第一工区から第四工区までの盛土に必要とされる60万㎡の搬出土は確保できる見通しか。第一工区から第四工区の外側で防災林造成との連携が必要とされる約0.5kmについて今後どのように進捗を図るか。 (2) 県中遠農林事業所による防災林植栽工は平成28年度には220mの工事予定であり、袋井市による盛土工が順調に進展しても防災林のない状態が長期化し、塩害の原因となる恐れが出ている。県中遠農林事務所との連携を進め、進捗を図る方法はないか。 (3) 湊地区西側の前川排水機場は、現状、農業用湛水防除施設としての必要性はなくなってきている。対岸の今之浦川の津波用水門のように、津波防御施設として今後検討できないか。				
2	産業振興について 地方創生を目指す袋井市にとり、産業振興は人口の維持向上のため不可欠である。そこで、これに関連し、次の3点を伺う。 (1) 小笠山山麓開発事業は、平成28年度に、道路用地測量他の測量調査業務、及び農業振興地域整備計画の定期変更による農振農用地区域からの除外を協議することとなっている。現在の進捗状況から、第一工区から第四工区までの防潮堤工事が平成30年度に終了した後、スムーズに盛土工用の土の搬出が可能となるか。また、今後、類似工業用地に比較し価格優位性は維持していける見通しか。 (2) 中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の県承認を受けた事業所に対し、計画実施のための費用を助成できないか。 (3) 袋井商工会議所では、現在、袋井市内飲食店の紙・看板・ネットによるマップ作成や、袋井特産物をどんぶりの具とした「袋井」の考案募集に取り組んでいる。これらの事業展開に市による後援ができないか。				
3	スポーツ施設の改善について スポーツ施設の市民への提供は、袋井市の住環境の維持向上に必要なものである。そこで、これに関連し、次の3点を伺う。 (1) 浅羽球場の照明灯は、新設時に6基あったうちの2基が現在撤去された状態にある。撤去された2基は、1塁側ベースラインの内野・外野にそれぞれ設置された2基であり、このため夜間は試合ができず練習のみの使用となっている。新設もしくは、新体育館建設予定地の旧パイオニア野球場照明灯の移転ができないか。				

質問順序	4	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
	<p>(2) 防潮堤工事中の浅羽海岸にあるサイクリング専用道は、今後、付替えにより使用できる状態になるよう配慮されている。他の県道にも自転車専用レーンを設置することを県に要望するか、市内でもサイクリングに適した道をサイクリングコースとして情報提供するためのマップ作成ができないか。</p> <p>(3) ハイキングは、歩く健康づくりに大変有用である。エコパ周辺にも遊歩道はあるが、袋井市内最高峰である小笠山への登山道は、掛川側からの登山道に比較し整備が遅れている。登山道の整備とともに小笠山を「袋井富士」と名付けてシティプロモーションに生かせないか。</p>				

質問順序	5	議席番号	1	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>>					
1	洪水タイムラインの普及について 6月から太田川・原野谷川を対象とし、避難行動に着目したタイムラインを策定し運用を開始した。台風接近の時期や河川水位の変化などから段階ごとにとるべき行動を整理するための有効な手段である。今後、積極的に普及していくべきと考える。 (1) 計画策定において特に留意した点は何か。 (2) 情報伝達方法に変更はあるか。 (3) 市内河川ごとに実情に即した計画策定も必要ではないか。				
2	外来生物の対策について 環境省は、ミシシippアカミミガメ（通称・ミドリガメ）が野生化して繁殖し、農作物の食害や生態系への影響を与えていると調査に乗り出した。 (1) 市内における野生化したミドリガメの生息実態は。 (2) ミドリガメによる農作物の被害状況は。 (3) 生態系を守るため計画的な駆除が必要では。				
3	ふるさと納税の取り組みについて ふるさと納税は貴重な財源である。本年度は返礼品も5種類から38種類に増やし、袋井にしかない独自の体験型も用意された。しかし、制度がもたらす不均衡は今後加速することが予想され、いずれは修正されると考える。 (1) 2015年度の収支はどのようになったか。 (2) 今年度の納税状況はどうか。 (3) 企業版ふるさと納税は検討されたか。また、取り組む考えは。				

質問順序	6	議席番号	8	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	ふるさと納税 シティプロモーションの一環として、ふるさと納税の返礼品の種類を当市では増加しましたが、その効果についてお伺いいたします。 (1) 前年度と比較して返礼品をどのくらい増やしましたか。 (2) 返礼品の種類を増やした効果は出ていますか。 (3) 今年度の目標額は達成できますか。 (4) 今後の取り組み方についてお伺いいたします。				
2	高齢化社会に向け 2015年、日本人の平均寿命は、女性87.05歳、男性80.79歳となり、いずれも過去最高を更新しました。国では、自宅で最期を迎えられるよう「在宅みとり」を推進しています。 (1) 死亡者のうち、医師による死亡確認場所が自宅だった人の割合が、当市は14.1%でした。このことについてどのように考えますか。 (2) 今後、この課題についてどのように考えていますか。 (3) 1人で暮らす65歳以上の高齢者が600万人を超えました。高齢者世帯のうち58%が「経済的に苦しい」とのことですが、当市はそれに当てはまる人は何人いますか、その対策は考えていますか。				
3	子どもの健康 当市は、高齢者にはインフルエンザの予防接種に助成しています。 (1) 子どもを対象にインフルエンザの予防接種に助成できないか。 (2) 小学生5人に1人が便秘状態にあるという結果から、当市の排せつ教育は、どのように取り組んでいるのかお伺いします。				

質問順序	7	議席番号	19	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>>					
1	教育行政について 平成27年度、地方教育行政法が変わり、教育委員会をはじめ教育を取り巻く環境が大幅に変わってきた。この変革期に当たっての本市の教育行政について伺う。 (1) 教育改革について ア 地方教育行政法改正による本市への影響について イ 総合教育会議の効果と今後の展開について ウ チーム学校の導入と今後の展開について エ 小中一貫教育の具体的な進め方について (2) 教育の事務管理、執行状況の点検・評価について ア 点検・評価全体を振り返っての総括について イ 子どもの健康で安全な生活を目指した取り組み「体力の向上」について ウ 子どもの学力向上を目指した取り組みについて エ 図書館事業について オ 青少年の健全育成事業「地区懇談会」について				
2	環境行政について 持続的な汚水処理システム構築に向け、本市でも基本構想の再検証が行われている。この中の公共下水道、合併処理浄化槽の課題と今後の対応について伺う。 (1) 公共下水道と合併処理浄化槽の公平性について (2) 合併処理浄化槽の市町村設置型事業の導入について (3) 適正な公共下水道使用料について (4) 合併処理浄化槽の維持管理費の引き下げについて (5) 生活困窮者への支援について				

質問順序	8	議席番号	7	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	ウォーキングコースの交通安全対策 日本一健康文化都市を掲げている当市では、健康のためにウォーキングを推奨し、市内では27カ所のコースも紹介されている。しかし、ウォーキング中、重大事故が発生しており、早急に安全点検と対策を進める必要がある。 (1) ウォーキングコース中には、都市計画道路など交通量の多い道路を横断する区間もある。横断歩道など歩行者を保護する対策は進んでいるか。 (2) 横断歩道の設置が難しい場合、法定外表示を活用して事故防止を進める必要があると思うがどうか。 (3) ウォーキングコースを紹介する屋外看板・冊子は、交通安全に配慮した表記になっているか。				
2	久野城址南遊水池の景観、道路 沖之川流域の治水対策として、鷺巣川の改修・久野城址南の遊水池の建設が進められている。城址の景観、地域の発展に配慮した設計について伺う。 (1) 遊水池では、ヨシやガマなどの繁茂が心配される。水生植物の生態を踏まえた設計が考慮されているか。 (2) 遊水池周辺の道路の拡幅、改修について、今後の地元との協議について伺う。				
3	市内歴史資源の活用 市内には貴重な歴史遺産が数多くあるが、更なる掘り起こしと活用が求められる。市の対応、体制づくりについて伺う。 (1) 市内には、地域の歴史や文化を自主的に調査研究している個人やグループが存在している。市はこれらと連携し、まちづくりを進めていく考えはないか。 (2) 活動によっては、国際的な広がりや連携が求められている。市の組織体制について伺う。 (3) 日本地質学会は、全国各県を代表する岩石などを「県の石」として認定したが、その中で宇刈大日の貝化石群を「県の石」として認定した。宇刈里山公園での活用を図る必要があると思うがどうか。 (4) 来年のNHK大河ドラマは「直虎」に決定し、早くも盛り上がりを見せている。井伊氏と縁が深い当市での宣伝、活用について伺う。				
4	市民体育館跡地の利用構想 新総合体育館は、基本構想・要求水準書をもとにSPCの選定が進められている。これに伴い、市民体育館閉鎖後の跡地の利用構想を進めていく時期に来ていると思うがどうか。 (1) 市の跡地利用の構想は進められているか。地元からの要望・意見は把握しているか。				

質問順序	9	議席番号	9	質問者	兼子 春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	<p>人口減少社会への対応について</p> <p>人口減少社会への対応として地方創生が進められている。平成22年から27年の5年間に県内で人口が増加している市は2市のみで、増加率では本市がトップである。この要因は、過去に土地区画整理事業の実施と企業誘致を積極的に進めたことにある。地方創生により人口増の政策を積極的に進め、中東遠の中軸都市を目指すべきである。</p> <p>(1) 本市は人口減少社会の中でも人口が増加している数少ない市となっている。これは、過去に土地区画整理事業や企業誘致を積極的に進めた結果である。今後も人口増につながる事業を進め、中東遠の中軸都市を目指すべきと思うがいかがか。</p> <p>(2) 土地区画整理事業について</p> <p>ア 今後の計画の中で土地区画整理事業が少ないが、もっと積極的に進めるべきでは。</p> <p>イ 保留地の売却が事業実施の条件となるが、近年実施した地区の保留地売却状況はどのようであったか。</p> <p>ウ 旧浅羽町においても土地区画整理事業を実施すべきと思うがいかがか。</p> <p>(3) 民間企業の宅地開発について</p> <p>ア 民間企業の宅地開発について支援の考えは。</p> <p>イ 民間企業の開発行為の指導は迅速・親切・丁寧な対応が必要と思われるが。</p> <p>(4) 企業誘致について</p> <p>ア 本市は市街化区域の線引きがされておらず、開発可能地域がたくさんあると思われる。企業立地可能性調査を全市的に行い、民間に広く情報を提供すべきである。</p> <p>イ まちづくり対策特別委員会の提言に基づき企業立地調査を行うと聞くが、内容と実施状況は。</p> <p>ウ 本市において新たな工業団地造成の考えはあるか。</p> <p>(5) 農地転用の許可権限委譲を、いかに地域開発や市勢の発展に結びつけているか。</p> <p>(6) 農用地除外の分家住宅の扱いについて。</p>				
2	<p>「道の駅」設置について</p> <p>東海道どまん中を標榜し、交通の要衝に位置する本市に、ドライバーの休憩施設と地域振興施設を併せ持つ「道の駅」の設置要望があるが、市としてどのように対応するか。地方創生の中で、道の駅は地域活性化の切り札として期待されている。</p> <p>(1) 道の駅可能性調査委託料の予算付けがされたが、委託業務の内容と進捗状況は。</p> <p>(2) 道の駅に対する市の基本的考えは。 (位置・規模・地域振興施設の内容・運営形態)</p> <p>(3) 内陸フロンティア事業として提案した「食のセントラルキッチン構想」との関連付けはどうか。</p>				

質問順序	9	議席番号	9	質問者	兼子 春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
	<p>(4) 「東海道どまん中袋井道の駅」として日本一の道の駅を造るべき。特色を持たせるため、世界に誇れる茶のルーツ資料である「松下コレクション」の展示施設を併設し、国内はもとよりアジアの人達にも、茶所袋井、茶文化のまち袋井を発信することはどうか。</p> <p>(5) 道の駅の所管課はどこになるか。</p>				
3	<p>国本廃家電問題について</p> <p>国本廃家電問題については、平成21年以来7年間、地域の最大の課題となっていた。今回、行政代執行という形で解決が図られようとしている姿勢は評価するが、この問題の反省点と再発防止策について伺う。</p> <p>(1) 問題の発生から7年の歳月が経過したが、当初、廃家電が産廃か一廃か判然としなかったことが対応の遅れとなったと思われるがどうか。</p> <p>(2) 市による業者への行政指導（飛散防止・有害物質の放出・害虫防除・鉛の流出等）は適切に行われたか。</p> <p>(3) 農地法の転用許可・土地利用の指導等、各課との連携はどうであったか。</p> <p>(4) 土地は賃貸であるが所有者責任について、所有者との話し合いはどうであったか。</p> <p>(5) 地域との連携、地域の声の拾い上げと地域への情報提供は適切であったか。</p> <p>(6) 行政代執行の経費は、義務者に請求できるが徴収方法は。また、その見込みは。</p> <p>(7) 行政代執行をした後の土地はどうなるのか。鉛による土壌汚染の調査を行う計画はあるか。</p> <p>(8) 再発防止のための施策はあるか。条例の制定も考えているとのことであるが、その内容はどのようなものとなるか。</p>				

質問順序	10	議席番号	6	質問者	田中 克周
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
1	障害者差別解消法について 平成28年4月1日から、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（以下、「障害者差別解消法」）が施行されました。その具体的な取り組みについてお伺いします。 (1) 障害者差別解消法第5条では、「施設の構造の改善及び設備の整備、関係職員に対する研修その他の必要な環境の整備に努めなければならない」と規定されています。具体的な取り組みをお示してください。 (2) 先の第24回参議院議員通常選挙において、どのような取り組みがなされたのかお示してください。 (3) 「市職員の対応要領」策定後の周知、公表及び見直しについて、どのように考えておられますか。				
2	市民サービスの向上について 市民が市役所の窓口において心地良く手続きを行えるよう、市民サービスの向上についてお伺いします。 (1) フロントオフィスとバックオフィスの間にパーテーション設置を提案するがどうか。 (2) カウンターにプライバシーが守られるような仕切り板を設置すべきでは。 (3) 授乳やおむつ替えのスペース、キッズスペースの設置が必要と考えるがどうか。 (4) 住民満足度の向上と職員への問い合わせ件数削減のため、コールセンターの設置を提案するがどうか。				
3	公会計について 統一的な基準による地方公会計の整備や地方公営企業会計基準の見直しが行われるなど、公会計を取り巻く環境が変化してきている。そこで、当局の方針を伺う。 (1) 総務省は、平成27年1月、地方自治体に対し、統一基準による財務書類を予算編成等に積極的に活用するよう通知しています。本市での具体的な活用方法をお伺いします。 (2) 統一基準に基づく新会計システム導入にあたり、研修費や導入コストなどの費用は、どの程度必要となるのか。また、実務上の課題は何か。 (3) 平成32年4月までに、公営企業会計の見直しに伴い、公共下水道特別会計が公営企業会計に移行することになっているが、移行作業の取り組み状況はどうか。 (4) 本市の下水道事業の現状に鑑みて、企業会計移行への課題をどう捉えているか。 (5) 経営の合理化と効率化が企業会計移行には欠かせないが、どのような改善計画を考えているのか。 (6) 将来を見通した時、水道事業と下水道事業を組織統合する可能性はあるのか。				

質問順序	1 1	議席番号	1 5	質問者	大場 正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	わが市のまちづくりについて 地方創生の加速化が叫ばれている。ある意味、自治体間の競争となっている面もある。わが市のまちづくりについて伺う。 (1) 今年度5カ月が経過した。平成28年度施政方針に沿って、順調に進捗、推進しているか。半期経った今、現状をどう評価しているか。 (2) 今日までの地方創生の取り組みの進捗状況と、その効果についてはどうか。 (3) また、その取り組みの見える化を図ることや、今後具体的に取り組んでいく事業は何か。 (4) 新たな市総合計画も先般策定した。新年度に向け、どのような予算編成を行っていくのか、基本的な考え方はどうか。				
2	高齢社会を迎えて わが市にも高齢の波が押し寄せてきている。今後も高齢化が進み、一人暮らしのお宅も確実に増えてくると思われる。①自治会組織・役員、地域コミュニティの維持と対策は。②市内各所に耕作放棄地や荒地が見受けられる。それらへの取り組み、対策は。「公」と「民」のそれぞれの役割について、協働も含め、伺う。 (1) 年々、自治会役員の役割が増え、地域コミュニティの維持が困難になっている。それらへの対応・対策は。 (2) 「公」の施設に関し、市道・歩道や農道の除草、公園の管理（除草を含む）の現状をどう捉えているか。また、公民館、公会堂周辺の除草、花壇等の管理の状況は。 (3) 「民」の部分としての、耕作放棄地、農地などの荒地の現状をどう捉えているのか。今後の対応策は。 (4) 「民」の部分としての、里山を含む、山林・原野の状況をどう捉えているのか。その対策は。 (5) 市の財源が限られていく中、市内業者にお願いするだけでなく、自治会・部農会、さらには団塊の世代やNPO、市民活動団体に、その対応・対策をお願いする考えは。				
3	ICT街づくり、情報化施工に向けて わが国は待ったなしの少子高齢化社会を迎えており、10年後にはあらゆる産業で、大きく労働力が不足するという現実が明らかにされている。そのような中、様々な現場でICT（i-construction）の推進が図られている。 (1) わが市ではどのような場面で、ICTの推進が進められていますか。現在の活用状況は。それらを進めることの意義はどう考えるか。その取り組みがなかなか市民側に見えてこないがどうか。その対応は。 (2) ICT技術の活用として、マルチコプター、ドローンなどの運用も耕作放棄地での使用なども、先般の議会で提案された。例えば、防潮堤建設現場や工業団地造成の際にも、ドローン等の3次元測量も有効かと考えるがどうか。				

質問順序	1 1	議席番号	1 5	質問者	大場 正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
	<p>(3) その測量後、3次元データを基に設計・施工計画、ICT搭載の建設機械による施工、それらの検査に活用することも全て労働力の省力化につながると思うがどうか。</p> <p>(4) また、このICT技術を駆使し、他市では農業の生産現場でも活用されているが、県内でも農業が活発なわが市での取り組みを進める考えは。地元JAとの協働を考えることは。</p> <p>(5) マルチコプター等の活用は、震災などの自然災害時にも有効な手段・方法と考えるがどうか。わが市として、そのような災害時への対応は考えているか。</p>				
4	<p>シティプロモーション事業の取り組みとその効果について</p> <p>袋井市の魅力を発信しながら、市民の皆さんと一緒に、熱心にこの地域を盛り上げてくれている。その取り組みの現状と効果、今後の展開について伺う。</p> <p>(1) この事業のソフト面の効果について伺う。費用対効果は。</p> <p>(2) ハード面での効果はどうか。今後の課題と対応は。</p>				

質問順序	1 2	議席番号	1 0	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	袋井市内中小企業の声 (1) JR袋井駅周辺として ア JR袋井駅前広場の有効利用策として、屋根等集える施設を設置しイベントなどでも活用してはと思うが考えを伺う。 イ JR袋井駅にはコインロッカーがなく、店舗で預かっていただきたいとの依頼があるが設置の考えを伺う。 (2) 人材育成として ア 地元企業として学生のアイデアを活用したいが、接点がなく困っている。行政と学生との関わりの中で、地元企業も協働できる機会をいただきたいと思うが考えを伺う。 イ 空き店舗対策として、新規事業者に対しての助成制度や店舗所有者への支援などの考えについて伺う。 (3) 農商連携として ア 袋井産米の活用として、米粉めんなどグルテンフリー食品の開発を考えているが、地元農産物の活用への取り組みに対し支援などの考えを伺う。 イ メロンサミットや海外輸出などクラウンメロンの販売促進に行政として積極的に取り組んでいただいているが、市内消費を伸ばす策としてメロンの日には市民がメロンを食べる日として給食等での活用など、行政主導で取り組める具体的な考えがあるか伺う。				
2	認知症対策 (1) 早期発見から早期受診について ア チェックリストの活用方法と普及活動への取り組み状況を伺う。 イ 専門医による認知症検査の自己負担額に対する補助への考えについて伺う。				
3	スポーツ振興における行政の基本姿勢と役割 (1) 袋井市としてスポーツ振興への役割について ア 袋井市の個人団体の中で全国大会や東海大会・県大会などへ出場した団体や個人に対して、どのような激励や褒章を行っているか、あわせて助成制度について市としての考えを伺う。 イ スポーツを純粋に楽しむことができる少年期の経験は、その後のスポーツ人生において大きな影響があると考えているが、その中でもスポーツ少年団の運営と現状について市としての考えを伺う。 ウ 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、オリンピック教育の推進について市としての考えを伺う。				

質問順序	1 3	議席番号	1 4	質問者	廣岡 英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>>					
1	児童扶養手当と子どもの貧困 児童扶養手当法の一部改正に伴い、第2子以降の加算額が増額される。子どもの貧困率は16.3%、ひとり親世帯では54%、母子家庭では66%と言われる中、ひとり親世帯にとってのセーフティネットである児童扶養手当について、子どもの貧困を含めて伺う。 (1) 今回の加算額増額の背景、改正による子どもの貧困率の改善効果への見解は。 (2) 4カ月に1回の「まとめ支給」への見解は。 (3) 支給対象者の所得基準を、どうお考えか。貧困家庭への各種助成制度の受給に向け、どんな体制で、どう助言されているか。 (4) 本市の受給世帯について 昨年度の答弁では、受給者は過去5年間で3割程度増加し、支給割合は5.18%とされた。 ア 本年度の児童扶養手当予算は、昨年度から微減しているが、積算根拠と支給割合、及び今後の動向をどう予測されているか。 イ 母子家庭の貧困率は最も高い。貧困対策には実態を把握する必要があると思うが、本市の母親の仕事時間、育児時間、所得などの実態はどうか。 ウ 貧困と学力や学習意欲との関連について、袋井版学力・学習状況調査を活用した検討はされているか。				
2	ブロック塀の耐震化促進 本市は、ブロック塀の耐震改修に向け補助制度を設け、津波避難困難地域では上乗せされている。 (1) 市内における耐震化が必要な件数と実施状況はどうか。 (2) 耐震改修が進まない理由をどうお考えか。 (3) 判定シート・リーフレットの活用で、どのような成果を見込んでいるか。 (4) 津波避難困難地域の現状について ア 津波一時避難場所への避難路は確保・整備されているか、自治会員に周知されているか。 イ 未実施の164戸は、避難路や緊急輸送路沿いの住宅数か。 ウ 国道150号以北の地区等も一時避難場所に集結する防災訓練を行っている。避難所沿いは、上乗せ補助対象にすべきではないか。 (5) 耐震化の促進には、自治会ごとで避難所の図上訓練や踏査を推進すべきではないか。				
3	公共下水道基本構想の見直しに伴う個別処理区域の拡大 今年2月に「袋井市公共下水道基本構想の再検証」が報告され、今年度中に基本構想がまとめられる。現公共下水道計画から除外される区域は920ha・22,365人で、削減率は35.18%。浅羽処理区は312ha・9,086人で削減率は47.7%である。 議会や地域説明会で議論されてきたが、個別処理区域への対応について、確認の意味を含めて伺う。				

質問順序	1 3	議席番号	1 4	質問者	廣岡 英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p style="text-align: center;">《一括》</p> <p>(1) 個別処理区域の戸数と人数について、行政区としての総数、現基本構想と見直し構想における未整備の実数（三川・宇刈地区を含めた数と基本構想における数）はどうか。</p> <p>(2) 平成52年度には完全実施を想定されているが、どう推進されるのか。</p> <p>(3) 公共下水との不公平感を解消するための設置、維持・管理費について ア 設置補助は現行制度を継続されるのか、管渠埋設工事が未整備な事業認可区域にも拡大すべきではないか。 イ 維持・管理費の補助はどの程度お考えか、すでに設置されている世帯へはどうか。</p> <p>(4) 「市町村設置型」も検討されてはどうか。</p>					

質問順序	14	議席番号	20	質問者	寺井 紗知子
質問事項・要旨（具体的な質問事項） ≪一括≫					
1	袋井駅南地区の状況について (1) にぎわいのあるまちづくりの拠点となる商業施設のあり方はいかにあるべきか。 ア この2年間に本申請に至らなかったことの検証は。 イ 100%の基本協定が得られない理由をどのように認識しているか。 ウ 指導要綱のもと提出された経過報告書の記載内容は。 エ 市長のモール発言はどのように活かされているか。 オ 袋井の顔づくり特別委員会からの提言書の取り扱いについて。 カ 「市民に望まれるまちづくり」の視点をもって進められているのか。 (2) 新幹線南側の雑草、雑木などの繁茂によって荒廃が進む農地の管理について ア 現状認識はどうか。 イ 放置による影響をどのように考えるか。 ウ 雑草など速やかに取り除く手段はあるか。 エ 遊水池用地を早期に買収する考えは。				